

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 4 月 1 日

事業所名 オールケア守口 ののはな

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	67%	0%	利用者の状態に合わせて配置等を工夫している	
	2	職員の配置数は適切である	83%	17%		利用者の特性に応じた配置をしていく
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	67%	33%		意思決定支援等に必要なツールや知識を広く職員が体得できるようにしていく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	83%	17%	危険な箇所には柵などを設けるなどの工夫をしている	リスクマネジメントを徹底する
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	終礼とケース会議で実施している	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		年に一度好評を行っていることを職員に広く周知する
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		年に一度好評を行っていることを職員に広く周知する
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	17%	83%		外部評価は実施していないが、内部でのチェック機能を活かしていることを職員に広く周知する
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	月に一度以上の研修を実施している	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%		左記のとおり計画を立案し支援を実施していることを職員に広く周知する
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		標準化されたアセスメントツールについて広く職員に周知する
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%		ガイドラインを参照したうえ目標設定が行われていることを広く職員に周知する
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		活動プログラムの立案についてすべての職員が参画できる仕組みを作る
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		活動プログラムに沿って支援が展開されていることを広く職員に周知する
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%		個別活動と集団活動のコーディネーションについて広く職員に周知する

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	50%	50%	終業後に実施している	前日には再度周知ができるよう工夫する
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		児童発達支援管理責任者の役割を広く職員に周知する
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		ケース会議等の際には相応の者から情報収集を行っていることを広く職員に周知する
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%		療育園等との連携を強化し広く職員に周知する
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%		多機関との連携を強化し広く職員に周知する
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%	0%		児童発達支援において現在医療的ケアを必要とする児童がいないが、受け入れの際には万全の体制を整えている
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		コロナ禍で連絡体制に制限はあるが実施されていることを広く職員に周知する
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	83%	17%		移行支援の必要な児童が今回初めているため、情報共有を実施する
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	67%	33%		現在児発管のみが研修に参加している状態のため、必要に応じて職員にも促していく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	67%	33%		コロナ禍で対面式の交流は難しいが代替となる機会を設けていく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	67%	33%		積極的に参画していることを広く職員に周知する
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	83%	17%		日々のアセスメントやモニタリングの内容を更に深く共有できるよう工夫する
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%		現在表出ニーズとしても潜在ニーズとしても急務ではないが、適宜実施していく
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		丁寧な説明を行っていることを広く職員に周知する
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		左記の手順を踏み同意を得て支援を展開していることを広く職員に周知する

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	83%	17%		更に能動的に相談の機会を設ける
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	50%	50%		コロナ禍で実施が難しいが、代替となる機会を設ける
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	83%	17%		月会報で発信している内容の中に先の情報を盛り込む
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	83%	17%		コロナ禍で止まってしまっているが、相応しい時期が巡れば実施する
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%		各種マニュアルは完備されていることを広く職員に周知する
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハットのみを集めた事例集はないが、議事録等で常に閲覧できるようになっている	安全衛生管理委員会で実施される事故ヒヤリ分析の結果を一冊にファイリングする
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年4月1日

事業所名 オールケア守口 ののはな 保護者等数(児童数) 2 回収数 2 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	0%	100%	0%	0%		最大限安全な場が提供できるようリスクマネジメントを徹底する
	2 職員の配置数や専門性は適切である	100%	0%	0%	0%		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	50%	50%	0%	0%		誰もが過ごしやすい環境を整備していく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	0%	0%		
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	100%	0%	0%	0%		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	0%	0%		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	0%	0%		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	100%	0%	0%	0%		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	50%	50%	0%	0%		安全に交流を図ることができるよう活動プログラムを立案し実践する
適切な支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	100%	0%	0%	0%		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	50%	50%	0%	0%		より具体的に、見通しを立てられるような計画を立案し、ご理解を得られるようにしていく
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	0%	100%	0%	0%		ニーズに照らして相応の活動を実施する
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	50%	50%	0%	0%		年間計画に基づくと共に、いつでも相談ができる環境を整備する
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	50%	50%	0%	0%		安全を確保し、適切な交流を図っていけるよう、手法や時期などを見極めていく
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	100%	0%	0%	0%		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	100%	0%	0%	0%		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	100%	0%	0%	0%		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	100%	0%	0%	0%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	50%	50%	0%	0%		実施している内容を、もっと具体的に打ち出しご理解をいただくよう努め、安心して通所していただけるようにする
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	50%	50%	0%	0%		実施している内容を発信していく場を多く持つ
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	100%	0%	0%	0%		
	23	事業所の支援に満足している	100%	0%	0%	0%		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。